

	学校名	防災・減災教育に取り組む背景
宮城	気仙沼市立鹿折中学校	東日本大震災の被災地の学校。震災の風化を防ぎ、震災の経験を語り継いでいく取り組みを行う。
	宮城県多賀城高等学校	東日本大震災の被災地の学校。東日本唯一の災害科学科を設置。防災教育を県内外に広げる役割を担う。
福島	只見町立只見中学校	平成 23 年の新潟・福島豪雨の被災地の学校。災害の歴史や教訓を後世に語り継ぐ人材の育成を目指す。
東京	多摩市立多摩中学校	多摩川と大栗川に挟まれた水害被害を受けやすい立地にあり、地域と協働した防災・減災に取り組む。
	東京都立杉並総合高等学校	首都直下地震が起きた場合に影響を受ける都心の学校。有事に備え、防災リテラシーを学習する。
神奈川	川崎市立上作延小学校	昨年の台風 19 号の際、多摩川の支流の平瀬川が氾濫し、避難所となつた学校。
	川崎市立新作小学校	丘陵地の谷あいにある学校。昨年の台風 19 号の際、避難所として多くの避難者が体育館の避難所を使用した。
	茅ヶ崎市立浜須賀中学校	海岸から近く、海拔が低い地域に立地する。想定外の津波被害、火災クラスターも指摘されている地域の学校。
山梨	山梨学院小学校	富士山、富士川等に近く、津波以外のほぼすべての自然災害のリスクを抱える地域にある。
長野	安曇野市立堀金中学校	昨年の台風 19 号や 7 月の豪雨に際に被災した地域の学校。県境を震源とする地震も頻発している。
	長野県上田養護学校	近くに千曲川が流れ、台風や豪雨の際には氾濫の危険がある地域の学校。
愛知	犬山市立渠田小学校	過去に、濃尾地震やため池決壊による大水害を経験した地域の学校。
	安城市立明和小学校	過去に三河地震を経験した地域の学校。今後想定される南海トラフ地震に備え防災意識を高める学習を目指す。
	大治町立大治南小学校	海拔 0m 地域にある学校。約 20 年前の東海豪雨では地域が浸水被害を受ける。地震の際、液状化の危険も高い。
	愛知県立一宮東特別支援学校	新型コロナウイルス感染拡大防止策のひとつとして、市指定の避難所で収容できない場合の避難所に指定されている。
大阪	箕面こどもの森学園	大雨による土砂災害、洪水が置く発生する地域にある学校。南海トラフ地震による被災も想定される。
兵庫	神戸大学附属小学校	阪神・淡路大震災の被災地の学校。2018 年の大阪北部地震では、登校中に発生し児童のみで避難した。
	神戸大学附属中等教育学校	生徒の居住地域が広く、想定される災害が異なる学校。居住地域で想定される災害への適切な対応力をを目指す。
和歌山	和歌山県立和歌山商業高等学校	南海トラフ地震の想定地域の学校。地域の災害弱者のニーズに焦点を合わせた商品開発も行っている。
広島	東広島市立三津小学校	2018 年西日本豪雨の被災地の学校。現在も一部しか復旧しておらず、児童は被災したままの町で生活する。
愛媛	愛媛県立今治特別支援学校	南海トラフ地震が想定される地域の学校。高台に立地しており地域の緊急指定避難所に指定されている。
福岡	大牟田市立みなと小学校	地域の指定避難所の学校。今年 7 月の豪雨の際、初めて被災するが、児童、教員、避難者が一晩孤立した。
	大牟田市立白川小学校	今年 7 月豪雨の被災地の学校。地域には災害時に自力での避難が困難なひとり暮らしの高齢者が多い。
沖縄	沖縄県立八重山特別支援学校	海から近く海拔も低いため津波発生時には即時の避難が必要な学校。大雨による浸水被害も経験する。